AMIふらっとセンターだより　第６号

平成　29　年　4　月　14　日発行
編集・発行：阿見町男女共同参画センター

男女共同参画

男女共同参画推進事業・文化講演会開催報告

（阿見町教育委員会生涯学習課共催）

日時：平成 29 年３月 19 日（日）13：30～15：30

場所：阿見町かすみ公民館　　参加者：　130 名

第１部『万葉集講演会』

～万葉集と古代日本女性の社会進出～

講師：布浦万代氏

つくば市在住の布浦万代氏は、2015 年には日本文化を代表され、ジュネーブ（スイス）の国連機関において万葉集を題材に講演を行い、その素晴らしさを世界に発信されました。

今回の講演は、その国連での発表を基調に約１時間にわたって、魅力ある万葉の世界をわかりやすく読み解いてくださいました。

【内容】・6～8 世紀（飛鳥・奈良時代）にかけて編纂された万葉集の中から、日本建国の激動の時代に活躍した女性天皇８名（内２名は重複）の姿をとおして古代における日本女性の地位と活躍をひもとく

・万葉集４５１６首の内　　女性が約１２０名　歌にして約４００首

女性天皇～遣唐使の母～常陸の国の働く農民の歌

※布浦氏より　「万葉集はただ字面にではなく､行間に思いが反映されている。この素晴らしい歌を多くの人に親しんでいただきたい。」

＜参加者の感想＞

・万葉集が人の心、人としての大切なものを詠んだものであることがよく判りました。
・本から得るのと違い大変参考になった。
・大変楽しい時間ありがとうございました。少し万葉集を勉強しているので尚興味が出ました。
・難しい内容をわかり易く示して戴き、ありがとうございました。
・私たち現代人が忘れかけている心の世界を再認識させていただきました。勉強になりました。

お問合せ先：阿見町男女共同参画センター
〒300-0333　阿見町若栗 1886-1　阿見町立中央公民館１階
TEL・FAX　**029-896-3181**　**E-mail**　chokatsu-ofc@town.ami.lg.jp
開館時間　　9：00～17：00
休館日　　月曜日（祝日の場合は翌日も休み）・祝祭日・年末年始

第２部『万葉朗唱会』

朗唱：堅香子の会

潮来市で万葉集を学ぶ「堅香子の会」は、布浦万代氏を講師として、毎月１回、万葉講座を開講して 10 年になります。この間に布浦氏から学んだ万葉集は約 2000 首になります。昨年の 4 月に第 100 回講座の記念大会を開催したところです。この朗唱は、第 50 回講座の記念大会の時に布浦氏が約 8 か月をかけて書いて下さったシナリオの防人の歌物語です。

「防人たちは遥かな筑紫国へ」と題した朗唱会では、会員 17 人が雅な奈良時代風の衣装で舞台に登場。第１章「召集令状」に始まり、「別れ」「旅発ち」「望郷」など 7 章に分けて、22 首を物語仕立てにし、情感込めて歌い上げました。

心に響く素晴らしいナレーションに導かれ、常陸の国から出征して筑紫の国へ向かった防人たちの悲哀に満ちた姿に思いをはせ、涙する人もいました。

＜参加者の感想＞

・時間が短すぎてもったいない。
・万葉朗唱会に初めて参加させていただき大変感動いたしました。素晴らしい会でした。
　いつの時代も人の思いと心は変わらぬものと改めて感じました。
・朗唱会　非常に良かった、特に説明された方が万葉の世界に連れていってくれた。

男女共同参画センター出前講座及び支援団体活動紹介

●男女共同参画センター出前講座

楽しく男女で学ぼう！　認知症・介護

～いざという時のために～

講師：小倉洋子氏

小倉洋子氏はつくば市を拠点として各方面の分野の講演会で講師として活躍されています。介護・年金・高齢者の生活の在り方等について、体験を交えて身近な問題をわかりやすく、ユーモア満載で話してくださいました。どの会場も時間をオーバーするほどの盛況ぶりで、たいへん参考になる講演会でした。

★開催日／開催場所

① 平成29年3月3日(金)13:30～15:00
君原公民館(参加数 60 人)

② 平成29年3月4日(土)13:30～15:00
まほろば(参加数20 人)

③ 平成29年3月8日(水)10:00～12:00
富士団地自治会館(参加数45人)

●介護を必要としている人が年々増加しているが、これを支える若者が少なくなっている。

●介護はお金が大事。物は買わず節約して介護に備える。

●孫には物を買ってやらない。　●老後は楽しい時間を過ごす。

●競争意識を持たない。　●自分をほめる。

●ゆるす心をもつ。

●親子そば打ち体験教室(茨大・のらボーイ＆のらガール食農教育プロジェクト主催)

平成 28 年 12 月 17 日(土)　阿見町中央公民館調理室(参加者数 56 人)

使われていない農地をお借りして、地域の子ども達やその家族とともに、蕎麦の栽培を行いました。播種から収穫までを体験し、最終日はみんなで蕎麦打ちを行いました。当日は、15 組を超える家族に参加していただき、盛大に体験教室が開催されました。子ども達は、自分達で打った蕎麦を何杯もおかわりしていました。

●男女共同参画ワークショップ(あみ・男女・まち・ねっと主催)　平成 29 年 2 月 16 日(木)

講師：長谷川幸介氏(茨城大学教育学部特任准教授)

阿見町中央公民館(参加者数 30 人)

男女共同参画社会を推進していく上で、一人ひとりが考えた課題をグループで焦点化し、その解決方法を協議する。次にグループでの協議結果を発表し合い、全体で協議しまとめる。

＜参加者の感想＞　ワークショップを通して、協働で課題を解決する方策を学ぶことができた。一人ひとりの様々なアイディアや提案が、グループで練り上げられることで、活動への意欲が高まった。今後、この手法を用いて、当面する課題を明確にし、具体的な解決策を検討していきたい。

職場・学校・家庭・地域における

阿見町男女共同参画の実現

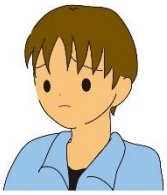
～みんなで変わろう！みんなで変えよう！～

男女共同参画社会ってなあに・・・？

日常生活の中で「男性・女性の役割」に縛られていると感じたことありませんか？

●「男は仕事、女は家庭」？
でも、私だって働きたいわ！

●「お茶当番は女まかせ、責任ある仕事は男に」
これって、差別よね！



●「男」だから、こうしなきゃ。
「女」だから、こうしなきゃ。
それって、なんだか窮屈だなあ・・・

●「育児、介護は女の役割、男のゴミ出しはみっともない」

■男女共同参画が実現するとどう変わるの・・・？

職場では

◆男女が共にそれぞれの視点を活かして仕事にチャレンジできます。
◆一人ひとりの個性や能力を発揮して多様なアイディアが生まれます。
◆育児休業、介護休業などを取得しやすい職場環境がつくられています。

学校では

◆性別に関係なく、自主的に学び、考え、行動する子どもを育てる教育が行われる。
◆個人の意思や能力を尊重した進路選択ができます。
◆発達段階に応じた授業や様々な活動を通して、一人ひとりがお互いを尊重する意識が育まれる。

家庭では

◆性別に関係なく、家事・育児・介護など家族みんなで役割分担して協力します。
◆仕事と家庭の両立が可能になり、精神的・時間的にゆとりが生まれます。
◆お互いが思いやることで家族の笑顔が増えます。

地域では

◆固定的な性別役割分担に基づく慣行が見直され、個人の考え方や行動が尊重されます。
◆男女ともに幅広い年代の人が、活動の企画や運営に携わり、豊かで住みよい地域づくりに貢献しています。
◆地域活動が活発に行われ、子育てや介護などの協力体制が整い、誰もが安心して暮らしています。